



平成30年度仁淀川地域アクションプランの  
追加、削除、拡充等（予定項目）について

仁 淀 川 地 域 本 部

平成30年2月15日（木）



# 地域アクションプランの追加・削除項目について

## 地域アクションプランの動向

H29年度 241 → H30年度 236 (▲5)

地 域	H29年度 (第3期ver.2)	H30年度 (第3期ver.3)				
	AP数 H29.9.19時点	追 加	削 除	統 合	小 計	AP数
安 芸	32	0	0	(2→1) ▲ 1	▲ 1	31
物部川	27	0	▲ 1	0	▲ 1	26
高知市	30	0	0	0	0	30
嶺 北	23	1	0	0	1	24
仁淀川	38	0	▲ 1	0	▲ 1	37
高 幡	43	0	▲ 2	0	▲ 2	41
幡 多	48	1	▲ 2	0	▲ 1	47
合 計	241	2	▲ 6	▲ 1	▲ 5	236

※ 削除6件のうち、自立:2件  
産業成長戦略として実施:2件

# 仁淀川地域アクションプラン項目（第3期計画ver.2（H29年度）と

No.	平成29年度	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
		14	12	10	9	9	12
1	仁淀川流域茶の生産体制の強化と販売促進		●	●	●	●	●
2	薬用作物の産地拡大による所得の向上			●	●	●	●
3	力強い高糖度トマト産地の確立			●	●		●
4	園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化	●	●				
5	加工用ワサビの生産と販売	●					
6	加工用土佐文旦の販売促進	●					
7	生姜の増産と加工品の生産拡大	●					
8	いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進		●				
9	本川きじの販路拡大		●				
10	食用山椒の生産体制の確立と販売促進					●	
11	日高村まるごとブランド化						●
12	仁淀川流域における林業・木材産業の振興	●	●	●	●	●	●
13	地域性の高い特用林産物の生産拡大	●	●	●	●	●	●
14	自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化				●		
15	宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化	●					
16	宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化	●					
17	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承	●	●	●			●
18	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化	●					
19	いの町中心市街地の活性化		●				
20	地域産品を活用した冷菓等の製造販売		●				
21	(株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大			●			
22	仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進			●			
23	地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進				●		
24	柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大					●	
25	ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進						●
26	「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化						●
27	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進	●	●	●	●	●	●
28	観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化	●					
29	土佐市における体験型観光と食観光の推進	●					
30	いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進		●				
31	いの町本川地区での山岳観光の推進		●				
32	仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実			●			
33	歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進				●		
34	越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進					●	
35	体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化					●	
36	「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化						●
37	小村神社周辺の仁淀川かわまちづくり整備による交流人口の拡大と地域の活性化						●
38	酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化	●					

削除

# 第3期計画Ver.3 (H30年度) の対比表

【仁淀川地域】

						No.	平成30年度
土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村		
13	12	10	9	9	12		
	●	●	●	●	●	1	仁淀川流域茶の生産体制の強化と販売促進
		●	●	●	●	2	薬用作物の産地拡大による所得の向上
		●	●		●	3	力強い高糖度トマト産地の確立
●	●					4	園芸産地における高収量技術の普及推進と出荷・販売体制の強化
●						5	加工用ワサビの生産と販売
						6	生姜の増産と加工品の生産拡大
	●					7	いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進
	●					8	本川きじの販路拡大
				●		9	食用山椒の生産体制の確立と販売促進
拡充					●	10	日高村まるごとブランド化
●	●	●	●	●	●	11	仁淀川流域における林業・木材産業の振興
●	●	●	●	●	●	12	地域性の高い特用林産物の生産拡大
			●			13	自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化
●						14	宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化
●						15	宇佐のアサリ資源を活用した地域の活性化
●	●	●			●	16	「土佐和紙」の販売促進と保存・継承
●						17	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化
	●					18	いの町中心市街地の活性化
	●					19	地域産品を活用した冷菓等の製造販売
		●				20	(株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大
		●				21	仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進
			●			22	地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進
				●		23	柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大
					●	24	ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進
					●	25	「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化
●	●	●	●	●	●	26	「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進
●						27	観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化
●						28	土佐市における体験型観光と食観光の推進
→	●					29	酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化
	●					30	いの町の地域資源を活かした体験型観光等の推進
	●					31	いの町本川地区での山岳観光の推進
		●				32	仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実
			●			33	歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進
				●		34	越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進
				●		35	体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化
					●	36	「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化
					●	37	小村神社周辺の仁淀川かわまちづくり整備による交流人口の拡大と地域の活性化



仁淀川地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 6 加工用土佐文旦の販売促進（土佐市） 【実施主体】JAとさし、土佐文旦加工組合、菊水酒造（株）	JAとさしと菊水酒造（株）との加工用規格外品の取引がH29年度末で終了する見込みであることや、土佐文旦加工組合の加工品生産再開の見通しも立っていないことなどから、地域アクションプランから削除する。 なお、土佐文旦の加工については、今後も全県的な支援を継続する。

■その他（拡充）

NO.	アクションプラン名	修正する理由
1	No. 11 日高村まるごとブランド化（日高村） 【実施主体】日高村、JAコスモス、(株)コスモスアグリサポート、(株)イチネンホールディングス、日高村商工会、特定非営利活動法人日高わのわ会、農事組合法人霧山茶業組合、(株)村の駅ひだか	【拡充】地域産業クラスター「日高村トマト産地拡大プロジェクト」として取り組んでいるトマト生産量の拡大にあわせて、トマトの加工・流通・販売促進の取り組みを強化し、「日高村まるごとイタリアンプロジェクト」をさらに推進するため、トマト加工施設の整備とトマト加工品販売の取り組みを追加する。

## 削除項目(案)

### 【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
6 加工用土佐文旦の販売促進 《土佐市》	土佐市の主要品目である土佐文旦は、県内市場の飽和化や贈答需要の減少による単価安の状況が続いている。このため、業務用の加工原料として出荷し、土佐文旦を土佐市の資源として有効活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAとさし</li> <li>・土佐文旦加工組合</li> <li>・菊水酒造(株)</li> </ul>	アクションプランの取組開始:H21 ・菊水酒造とJAとさしが連携し、下級品の加工を検討(H21) ・菊水酒造が産業振興総合補助金を活用して搾汁機を設置。加工品の販売を開始(H21～) ・関係機関による下級品利用の協議(H21～28) ・JAとさしにおいて、文旦酒を入れた贈答用セットを販売(H22～28) ・加工品の消費拡大に向けた、土佐文旦まつりでのPR販売(H24～28) ・土佐市(ドラゴン広場)において、文旦酒の店舗販売(H25～28) ・土佐文旦加工組合が文旦飲料「土佐文旦ぶんぶん」をOEM生産して販売(H21～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工原料用土佐文旦の出荷量が伸びていない。</li> <li>・メインの取引先である菊水酒造(株)への出荷量が伸び悩み。</li> </ul>	◆加工原料用土佐文旦の出荷量の拡大



削除



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
加工原料用土佐文旦の出荷量の拡大						加工原料用土佐文旦の出荷量 (H26:100t)	110t
新たな取引先を開拓するためのセールス							
イベントやメディア等を活用したPRIによる既存加工品の販路拡大							
加工業者と生産地が連携した商品開発							



削除

# 修正項目(案)

## 【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
11 日高村まるごとブランド化 《日高村》 ※地域産業クラスター関連(日高村トマト産地拡大プロジェクト)  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	日高村アグリネットワーク(生産農家、加工品製造者、農産物等販売者等)を活用した特産品等の開発・販売活動や日高村特産のトマトを活かした「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進により、日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップを図り、交流人口の拡大や移住促進など地域の活性化につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> <li>・JAコスモス</li> <li>・(株)コスモスアグリサポート</li> <li>・㈱イチネンホールディングス</li> <li>・日高村商工会</li> <li>・特定非営利活動法人日高わのわ会</li> <li>・農事組合法人霧山茶業組合</li> <li>・(株)村の駅ひだか</li> </ul>	アクションプランの取組開始:H24 ・日高村アグリネットワーク会議の開催(H24~28) ・県外への特産品等販促活動(サニーマート、福島屋、まるごと高知他)(H25~28) ・日高あぐり大会の開催(H26~28) ・PR資材の制作(H26~28) ◆生産農家、加工品製造者、農産物販売者等のネットワークの構築と日高村の知名度向上につながった。 ・「オムライス街道スタンプラリー」の開催(H26~28) ・「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の展開(H28~) ◆「オムライス街道」の協力店舗はスタート時の6店舗から11店舗に増え、H26~27の累計でオムライス104,500食を販売するなど村の知名度向上及び事業者等の連携強化につながった。	・日高村アグリネットワークの連携強化 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 ・雇用及び移住者の増	◆日高村アグリネットワークの連携強化  ◆「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進



## 【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
10 日高村まるごとブランド化 《日高村》 ※地域産業クラスター関連(日高村トマト産地拡大プロジェクト)  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	日高村アグリネットワーク(生産農家、加工品製造者、農産物等販売者等)を活用した特産品等の開発・販売活動や日高村特産のトマトを活かした「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進により、日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップを図り、交流人口の拡大や移住促進など地域の活性化につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> <li>・JAコスモス</li> <li>・(株)コスモスアグリサポート</li> <li>・㈱イチネンホールディングス</li> <li>・日高村商工会</li> <li>・特定非営利活動法人日高わのわ会</li> <li>・農事組合法人霧山茶業組合</li> <li>・(株)村の駅ひだか</li> </ul>	アクションプランの取組開始:H24 ・日高村アグリネットワーク会議の開催(H24~29) ・県外への特産品等販促活動(サニーマート、福島屋、まるごと高知他)(H25~29) ・日高あぐり大会の開催(H26~28) ・PR資材の制作(H26~28) ◆生産農家、加工品製造者、農産物販売者等のネットワークの構築と日高村の知名度向上につながった。 ・「オムライス街道スタンプラリー」の開催(H26~29) ・「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の展開(H28~29) ◆「オムライス街道」の協力店舗はスタート時の6店舗から11店舗に増え、H26~28の累計でオムライス173,950食を販売するなど村の知名度向上及び事業者等の連携強化につながった。	・日高村アグリネットワークの連携強化 ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上 ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発 ・雇用及び移住者の増	◆日高村アグリネットワークの連携強化  ◆「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
日高村アグリネットワークの連携強化					農産物等の販売額 (H22:3.2億円) (H26:4.3億円)	4.5億円	
定期的なネットワーク会議の開催							
新たな事業者等の参加を促す仕組みづくりとネットワーク組織の強化							
新たな特産品の開発及び展示商談会等への参加、連携した販促活動の実施							
テレビ・新聞・雑誌等のメディアやインターネットを活用した情報発信					「オムライス街道」によるオムライス販売数 (H26:38,300食) (H27:66,200食)	100,000食	
「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進					商品・加工品開発件数 (H27:0件)	10件(H28～31累計)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>トマトを活かしたローカルブランディング(情報発信事業、日高村プロモーション映像の制作 他)</li> <li>「オムライス街道スタンプラリー」の拡充</li> <li>トマトを活かした商品・加工品開発</li> <li>トマトを介した健康づくり等各種イベントの開催</li> <li>移住促進策の推進</li> <li>JA出資型法人(株)コスモスアグリサポート・㈱イチネンホールディングスとの連携による雇用の拡大</li> </ul>					県外からの移住者数 (H27:2組)	10組(H28～31累計)	
トマト加工施設の検討及び整備					新規就農者数 (H27:2名)	4名(H28～31累計)	
トマト加工品の販売							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
日高村アグリネットワークの連携強化					農産物等の販売額 (H22:3.2億円) (H26:4.3億円)	4.5億円	
定期的なネットワーク会議の開催							
新たな事業者等の参加を促す仕組みづくりとネットワーク組織の強化							
新たな特産品の開発及び展示商談会等への参加、連携した販促活動の実施							
テレビ・新聞・雑誌等のメディアやインターネットを活用した情報発信					「オムライス街道」によるオムライス販売数 (H26:38,300食) (H27:66,200食)	100,000食	
「日高まるごとイタリアンプロジェクト」の推進					商品・加工品開発件数 (H27:0件)	10件(H28～31累計)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>トマトを活かしたローカルブランディング(情報発信事業、日高村プロモーション映像の制作 他)</li> <li>「オムライス街道スタンプラリー」の拡充</li> <li>トマトを活かした商品・加工品開発</li> <li>トマトを介した健康づくり等各種イベントの開催</li> <li>移住促進策の推進</li> <li>JA出資型法人(株)コスモスアグリサポート・㈱イチネンホールディングスとの連携による雇用の拡大</li> </ul>					県外からの移住者数 (H27:2組)	10組(H28～31累計)	
トマト加工施設の検討及び整備					新規就農者数 (H27:2名)	10名(H28～31累計)	
トマト加工品の販売							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 《いの町》	地域の特産品であるゆず、トマト、いちご、文旦等を活用したアイスクリーム、シャーベット、ドリンク等の生産性の向上と販売拡大を図るとともに、生産者の所得向上を目指す。	・(有)高知アイス	アクションプランの取組開始:H22 ・生産体制及び品質管理の強化(H22~24、H26、H28) ・商品開発及び販路拡大(H22~28) ◆給水設備の改良並びに冷凍保管庫建屋、発送室及び冷凍設備の増設により、安定した生産ラインへの水の供給、海外向けアイテムのストックヤードの確保、出荷作業等の効率化及び、コスト削減につながった。 ◆海外の商談会等への出展を通じて販路開拓に結びついた。また、アイスクリーム・飲料メーカーで四国初のハラール認証を受けたことによりマレーシア等への販路も広がり、日本国内でのハラール商品の取扱も始まった。未開発地である中東地域(UAE)での市場調査や商談会に出展し、ジャパンハラールエキスポを通して国内での取引先が増加(5社)した。 ◆直営売店の飲食・売り場スペースの拡張、視察用施設(窓・見学通路)を整備し観光客等の満足度が向上したことで売店の売上が大きく伸びている。 ・HACCP研修への参加(H28) ・売店2号店の開設(H28.11月)	・国内外での販路拡大 ・通年販売できる商品の開発 ・直営売店や工場を仁淀川流域の観光拠点施設としてツアー客など観光客の満足度向上	◆販路拡大と販売促進  ◆観光客や工場見学者等への販売強化  ◆新商品の開発
修正前					



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売 《いの町》	地域の特産品であるゆず、トマト、いちご、文旦等を活用したアイスクリーム、シャーベット、ドリンク等の生産性の向上と販売拡大を図るとともに、生産者の所得向上を目指す。	・(有)高知アイス	アクションプランの取組開始:H22 ・生産体制及び品質管理の強化(H22~24、H26、H28~29) ・商品開発及び販路拡大(H22~29) ◆給水設備の改良並びに冷凍保管庫建屋、発送室及び冷凍設備の増設により、安定した生産ラインへの水の供給、海外向けアイテムのストックヤードの確保、出荷作業等の効率化及び、コスト削減につながった。 ◆海外の商談会等への出展を通じて販路開拓に結びついた。また、アイスクリーム・飲料メーカーで四国初のハラール認証を受けたことによりマレーシア等への販路も広がり、日本国内でのハラール商品の取扱も始まった。未開発地である中東地域(UAE)での市場調査や商談会に出展し、ジャパンハラールエキスポを通して国内での取引先が増加(5社)した。 ◆直営売店の飲食・売り場スペースの拡張、視察用施設(窓・見学通路)を整備し観光客等の満足度が向上したことで売店の売上が大きく伸びている。 ・HACCP研修への参加(H28) ・農産HACCP第3ステージ取得(H28) ・売店2号店の開設(H28) ・工場内設備及び売店施設(1号店)の拡充(H29)	・国内外での販路拡大 ・通年販売できる商品の開発 ・直営売店や工場を仁淀川流域の観光拠点施設としてツアー客など観光客の満足度向上	◆販路拡大と販売促進  ◆観光客や工場見学者等への販売強化  ◆新商品の開発
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大と販売促進					→	冷蔵等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	4.5億円
国内・海外での展示・商談会への出展・営業力の強化							
ハラル認証を生かした販売強化							
高速道路SAや関東方面への営業強化							
インターネットを活用した販売の強化							
営業力強化のための人材育成							
生産体制の強化(工場・設備の拡充・整備)							
県版HACCPの取得							
売店の県外・海外展開の検討・整備							
観光客や工場見学者等への販売強化							
売店での新商品・メニューの開発・販売							
売店(1号店)施設の拡充・整備							
売店(2号店)の整備							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携によるツアー客等の誘致							
TV・ラジオ・新聞・雑誌等による宣伝広告の実施							
新商品の開発					→		
新商品(冷蔵及び通年販売できる商品)の開発・販売							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
販路拡大と販売促進					→	冷蔵等の販売額 (H22:3.75億円) (H26:3.75億円)	5.3億円
国内・海外での展示・商談会への出展・営業力の強化							
ハラル認証を生かした販売強化							
高速道路SAや関東方面への営業強化							
インターネットを活用した販売の強化							
営業力強化のための人材育成							
生産体制の強化(工場・設備の拡充・整備)							
県版HACCPの取得							
売店の県外・海外展開の検討・整備							
観光客や工場見学者等への販売強化							
売店での新商品・メニューの開発・販売							
売店(1号店)施設の拡充・整備							
売店(2号店)の整備							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携によるツアー客等の誘致							
TV・ラジオ・新聞・雑誌等による宣伝広告の実施							
新商品の開発					→		
新商品(冷蔵及び通年販売できる商品)の開発・販売							

# 修正項目(案)

## 【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進 《仁淀川町》  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。	・仁淀川町 ・(株)ピバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者	アクションプランの取組開始:H28 ・(株)ピバ沢渡による商品開発(H28~) ◆茶の加工品開発に取り組み、商品ラインアップの拡充とあわせて売上安定化を図った。  ・(株)ピバ沢渡による産業振興総合補助金を活用した施設整備の検討(H28~)	・市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ・町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ・産業を持続させるための後継者及び担い手の不足	◆茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進  ◆商品開発、販売促進などによる経営の持続化  ◆後継者及び担い手の確保・育成  ◆(株)ピバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点整備



## 【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
21 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進 《仁淀川町》  <div style="border: 1px solid black; background-color: black; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。	・仁淀川町 ・(株)ピバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者	アクションプランの取組開始:H28 ・(株)ピバ沢渡による商品開発(H28~) ◆茶の加工品開発に取り組み、商品ラインアップの拡充とあわせて売上の安定化を図っている。  ・(株)ピバ沢渡による産業振興総合補助金を活用した施設整備の検討(H28~29) ・(株)ピバ沢渡拠点施設の整備(H29)	・市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ・町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ・産業を持続させるための後継者及び担い手の不足	◆茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進  ◆商品開発、販売促進などによる経営の持続化  ◆後継者及び担い手の確保・育成  ◆(株)ピバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点整備

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進					→	主要事業者の販売額(H27:50,000千円)	80,000千円
基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進							→
商品開発、販売促進などによる経営の持続化					→	→	
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進							→
後継者及び担い手の確保・育成					→	→	
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援							→
㈱ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備					→	→	
6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討							→
㈱ビバ沢渡施設整備にかかる事業計画策定	㈱ビバ沢渡施設整備・オープン	イベント等の実施による集客、一般社団法人仁淀ブルー観光協議会等と連携したツアー客の受入、情報発信			→	→	



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進					→	主要事業者の販売額(H27:50,000千円)	95,000千円
基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進							→
商品開発、販売促進などによる経営の持続化					→	→	
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進							→
後継者及び担い手の確保・育成					→	→	
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援							→
㈱ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備					→	→	
6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討							→
㈱ビバ沢渡施設整備にかかる事業計画策定	㈱ビバ沢渡施設整備・オープン	イベント等の実施による集客、一般社団法人仁淀ブルー観光協議会等と連携したツアー客の受入、情報発信			→	→	

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
23 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》  修正前	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 ・南吉本乳業	アクションプランの取組開始:H21 ・酪農家を含めた農商工連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備(H22、23) ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施(H21～28) ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ぢぢちブランド」に認定(H28) ・産振アドバイザー事業を活用し、イベントの効果的な実施等地乳ブランド普及に向けた取り組みを検討(H28) ・南吉本乳業が産業振興総合補助金を活用して、さかわの地乳製造施設整備を実施(H28) ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。  ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施(H25～27) ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。  ・地乳製造施設での衛生管理体制の強化	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり  ◆売れる仕組みづくり  ◆牛乳加工施設の整備及び販路拡大



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》  修正後	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 ・南吉本乳業	アクションプランの取組開始:H21 ・酪農家を含めた農商工連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備(H22、23) ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施(H21～28) ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ぢぢちブランド」に認定(H28) ・産振アドバイザー事業を活用し、イベントの効果的な実施等地乳ブランド普及に向けた取り組みを検討(H28) ・南吉本乳業が産業振興総合補助金を活用し、さかわの地乳製造施設を整備するとともに、県版HACCP第2ステージ認証を取得(H28) ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。  ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施(H25～27) ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。  ・地乳製造施設での衛生管理体制の強化	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり  ◆売れる仕組みづくり  ◆牛乳加工施設の整備及び販路拡大



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					牛乳類商品販売額 (H27:1.27億円)	1.57億円	
地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり 							
							
売れる仕組みづくり 							
							
牛乳加工施設の整備及び販路拡大   							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					牛乳類商品販売額 (H27:1.27億円)	1.57億円	
地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり 							
							
売れる仕組みづくり 							
							
牛乳加工施設の整備及び販路拡大   							

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 《仁淀川地域全域》	仁淀川地域の自然、歴史、文化、生活、産業などの多様な地域資源を生かして旅行商品化を進めることで仁淀川ブランドの拡大を図る。また、全国屈指の水質を誇る仁淀川ブランド化を進め、国内外での知名度を高めることで交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。	・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会	アクションプランの取組開始:H23 ・広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会を設立(H22) ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした観光・物販情報の発信(H23～) ・旅行商品及び観光資源等のプロモーション活動と商品化に向けた旅行会社のサポート(H23～) ・着地型観光旅行商品の造成(H23～) ・市町村や観光協会の観光資源の磨き上げに関するサポート(H23～) ・中長期計画の策定(H27.3月) ・インバウンド対応の推進(H27～) ・一般社団法人化(H27.12月) ◆H22の仁淀川地域観光協議会設立以降、地域の観光施設や観光資源にマッチした旅行会社を中心にセールスやサポートを行い、実現したツアーによる流域への誘客数は、年々実績を伸ばしている。 ◆旅行会社のパンフレット掲載、HP、ブログ、FB、観光物産展の開催など、一般旅行者に向けた観光情報の発信事業にも取り組み、テレビや雑誌等マスコミにも仁淀川が取り上げられ、着実に知名度が向上している。 ◆H27.3月には広域観光の推進及び協議会の安定した運営を目指して「中長期計画」を策定し、毎月の幹事会の中で中長期計画の実践に向けた協議を継続して行っている。この中でこれまでの任意団体から法人化(「一般社団法人仁淀ブルー観光協議会」)を設立(H27.12月)することで運営組織の体制強化が図られ、取組のバージョンアップに着手している。 ・ツアー催行本数 H24:110本 H25:149本 H26:164本 H27:147本 ・ツアー客数 H24:2,477人 H25:3,660人 H26:4,153人 H27:3,784人 ・産業振興アドバイザー事業を活用して高知銀行ノベルティグッズ及び土産品を開発(H28)	・旅行会社や観光客の多様なニーズに対応できる旅行商品の企画及び商品化 ・観光地としての認知度のさらなる向上 ・外国人観光客の受け入れ環境の整備 ・6市町村、観光協会及び地域の観光関係者とのさらなる連携の強化 ・安定した組織運営(自主財源の確保、旅行業の登録等)	◆観光客の誘致  ◆観光資源の旅行商品化  ◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化  ◆外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備  ◆仁淀川地域の観光に携わる人材の育成  ◆中長期計画に基づく組織体制の強化

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 《仁淀川地域全域》	仁淀川地域の自然、歴史、文化、生活、産業などの多様な地域資源を生かして旅行商品化を進めることで仁淀川ブランドの拡大を図る。また、全国屈指の水質を誇る仁淀川ブランド化を進め、国内外での知名度を高めることで交流人口の拡大を図り、地域の活性化を目指す。	・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・(二社)いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会	アクションプランの取組開始:H23 ・広域観光を推進する母体となる仁淀川地域観光協議会を設立(H22) ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした観光・物販情報の発信(H23～) ・旅行商品及び観光資源等のプロモーション活動と商品化に向けた旅行会社のサポート(H23～) ・着地型観光旅行商品の造成(H23～) ・市町村や観光協会の観光資源の磨き上げに関するサポート(H23～) ・中長期計画の策定(H26) ・インバウンド対応の推進(H27～) ・一般社団法人化(H27) ・第2種旅行業登録(H28) ◆H22の仁淀川地域観光協議会設立以降、地域の観光施設や観光資源にマッチした旅行会社を中心にセールスやサポートを行い、実現したツアーによる流域への誘客数は、年々実績を伸ばしている。 ◆旅行会社のパンフレット掲載、HP、ブログ、FB、観光物産展の開催など、一般旅行者に向けた観光情報の発信事業にも取り組み、テレビや雑誌等マスコミにも仁淀川が取り上げられ、着実に知名度が向上している。 ◆H27.3月には広域観光の推進及び協議会の安定した運営を目指して「中長期計画」を策定し、毎月の幹事会の中で中長期計画の実践に向けた協議を継続して行っている。この中でこれまでの任意団体から法人化(「一般社団法人仁淀ブルー観光協議会」)を設立(H27.12月)することで運営組織の体制強化が図られ、取組のバージョンアップに着手している。 ・ツアー催行本数 H24:110本 H25:149本 H26:164本 H27:147本 H28:181本 ・ツアー客数 H24:2,477人 H25:3,660人 H26:4,153人 H27:3,784人 H28:4,511人 ・産業振興アドバイザー事業を活用して高知銀行ノベルティグッズ及び土産品を開発(H28) ・第2種旅行業登録の完了に伴い、自主企画ツアーを造成・販売するなど、自主財源の確保に向けた取組が進展(H28～)	・旅行会社や観光客の多様なニーズに対応できる旅行商品の企画及び商品化 ・観光地としての認知度のさらなる向上 ・外国人観光客の受け入れ環境の整備 ・6市町村、観光協会及び地域の観光関係者とのさらなる連携の強化 ・安定した組織運営(自主財源の確保、旅行業の登録等)	◆観光客の誘致  ◆観光資源の旅行商品化  ◆「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化  ◆外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備  ◆仁淀川地域の観光に携わる人材の育成  ◆中長期計画に基づく組織体制の強化

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
観光客の誘致					仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (H23:500人) (H26:4,153人)	5,500人
旅行会社へのプロモーション活動(旅行会社への売り込み、旅行商品販売に向けたチラシ・パンフレット等の作成)						
「奇跡の清流仁淀川」を生かした仁淀川地域での観光戦略の策定、知名度の向上(ブランド化)						
ワンストップ窓口の機能強化(ランドオペレーター機能及び地域コーディネート機能の強化)						
観光資源の旅行商品化					主要宿泊施設の宿泊者数 (H26:65,410人)	72,000人
観光資源の発掘・レベルアップ(市町村や観光関係者と連携した観光資源の発掘、体験プログラム等の磨き上げ及び実施体制の整備)						
旅行商品化への取組(ターゲット別・テーマ別など観光資源を組み合わせた周遊ツアー・滞在型ツアーの造成、旅行会社と連携した魅力ある旅行商品の造成)						
「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化						
地域の観光情報の収集及び発信(各市町村及び関係団体からの情報収集、HP等のインターネットツールやパンフレット等を活用した観光情報等の発信)					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
広域観光案内(来訪や電話による紹介への対応、地域のお勧め情報の提供)						
外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備						
Webサイト等を活用した仁淀川地域の魅力発信、看板やメニュー標記の多言語化等による受け入れ環境の整備						
仁淀川地域の観光に携わる人材の育成					仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (H23:500人) (H26:4,153人)	5,500人
旅行商品化、観光のトレンド、観光資源のレベルアップ等のための研修会等の開催(対象:市町村、観光協会、仁淀川地域情報員、観光施設、宿泊施設、道の駅など)						
中長期計画に基づく組織体制の強化						
中長期計画に基づいた取組の実践及び見直し(PDCAサイクル)						
自主財源の確保(賛助会費、旅行会社等からの販売手数料、物販収入など)					主要宿泊施設の宿泊者数 (H26:65,410人)	72,000人
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会のパートナーとの連携強化						
旅行業登録						
旅行業を活用した旅行商品の企画・造成・販売						
観光動向調査					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
日本版DMO登録に向けた観光戦略の策定						
日本版DMO登録						
観光戦略に基づく実践・観光地域づくり						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
観光客の誘致					仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (H23:500人) (H26:4,153人)	5,500人
旅行会社へのプロモーション活動(旅行会社への売り込み、旅行商品販売に向けたチラシ・パンフレット等の作成)						
「奇跡の清流仁淀川」を生かした仁淀川地域での観光戦略の策定、知名度の向上(ブランド化)						
ワンストップ窓口の機能強化(ランドオペレーター機能及び地域コーディネート機能の強化)						
観光資源の旅行商品化					主要宿泊施設の宿泊者数 (H26:65,410人)	72,000人
観光資源の発掘・レベルアップ(市町村や観光関係者と連携した観光資源の発掘、体験プログラム等の磨き上げ及び実施体制の整備)						
旅行商品化への取組(ターゲット別・テーマ別など観光資源を組み合わせた周遊ツアー・滞在型ツアーの造成、旅行会社と連携した魅力ある旅行商品の造成)						
「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化						
地域の観光情報の収集及び発信(各市町村及び関係団体からの情報収集、HP等のインターネットツールやパンフレット等を活用した観光情報等の発信)					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
広域観光案内(来訪や電話による紹介への対応、地域のお勧め情報の提供)						
外国人観光客(クルーズ客船含む)の受け入れ体制の整備						
Webサイト等を活用した仁淀川地域の魅力発信、看板やメニュー標記の多言語化等による受け入れ環境の整備						
仁淀川地域の観光に携わる人材の育成					仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 (H23:500人) (H26:4,153人)	5,500人
旅行商品化、観光のトレンド、観光資源のレベルアップ等のための研修会等の開催(対象:市町村、観光協会、仁淀川地域情報員、観光施設、宿泊施設、道の駅など)						
中長期計画に基づく組織体制の強化						
中長期計画に基づいた取組の実践及び見直し(PDCAサイクル)						
自主財源の確保(賛助会費、旅行会社等からの販売手数料、物販収入など)					主要宿泊施設の宿泊者数 (H26:65,410人)	72,000人
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会のパートナーとの連携強化						
旅行業登録						
旅行業を活用した旅行商品の企画・造成・販売						
観光動向調査					主要観光施設の入込客数 (H26:216,458人)	276,000人
日本版DMO登録に向けた観光戦略の策定						
日本版DMO申請						
日本版DMO登録						
観光戦略に基づく実践・観光地域づくり						

# 修正項目(案)

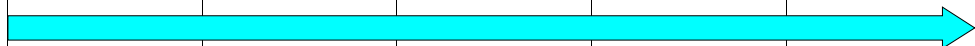

## 【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化 《越知町》  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	仁淀川でのカヌー・ラフティングや横倉山などの地域資源を活用した体験型観光を束ねる拠点として、(株)スノーピーク監修によるキャンプ場を整備・運営し、仁淀ブルーの全国発信と観光客誘致による交流人口の拡大と、地域の活性化を目指す。	越知町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの取組開始:H28</li> <li>・キャンパイベントの実施(H28)</li> <li>・アウトドア雑誌への掲載による情報発信(H28)</li> <li>・基本計画の策定(H28)</li> <li>・基本設計・実施設計(H28)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川流域における観光拠点としての施設の整備と機能の充実</li> <li>・仁淀川流域の観光関係者との連携の強化</li> <li>・情報発信の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆キャンプ場の整備と運営</li> <li>◆地域の観光資源とのコラボと情報発信</li> </ul>

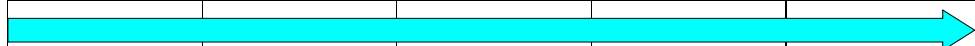
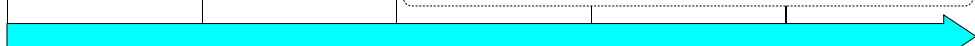


## 【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化 《越知町》  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	仁淀川でのカヌー・ラフティングや横倉山などの地域資源を活用した体験型観光を束ねる拠点として、(株)スノーピーク監修によるキャンプ場を整備・運営し、仁淀ブルーの全国発信と観光客誘致による交流人口の拡大と、地域の活性化を目指す。	越知町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの取組開始:H28</li> <li>・キャンパイベントの実施(H28～29)</li> <li>・アウトドア雑誌への掲載による情報発信(H28)</li> <li>・基本計画の策定(H28)</li> <li>・基本設計・実施設計(H28)</li> <li>・キャンプ場整備工事(H28～29)</li> <li>・指定管理者の決定(H29)</li> <li>・東京大学「フィールドワークスタディ型政策協働プログラム(テーマ:キャンプ場を核とした地域活性化)」の実施(H29)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川流域における観光拠点としての施設の整備と機能の充実</li> <li>・仁淀川流域の観光関係者との連携の強化</li> <li>・情報発信の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆キャンプ場の整備と運営</li> <li>◆地域の観光資源とのコラボと情報発信</li> </ul>

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
						
キャンプ場の整備と運営						
基本計画策定	基本設計、実施設計、施設整備	キャンプ場開設・運営、㈱スノーピークとの連携				
						
地域の観光資源とのコラボと情報発信						
地域資源調査	地域資源を活用した体験メニューづくり					
イベントプログラムの試行	体験メニュー・イベント提供					
情報発信強化の検討	キャンプ場オープンに向けた告知	情報発信、㈱スノーピークとの連携				
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー等の受け入れ、観光商品づくり、情報発信						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
						
キャンプ場の整備と運営					キャンプ場宿泊者数 (H29:0人)	5,400人
基本計画策定	基本設計、実施設計、施設整備	キャンプ場開設・運営、㈱スノーピークとの連携				
						
地域の観光資源とのコラボと情報発信					宮の前公園センター ハウス レジ通過者 数 (H29:0人)	42,000人
地域資源調査	地域資源を活用した体験メニューづくり					
イベントプログラムの試行	体験メニュー・イベント提供					
情報発信強化の検討	キャンプ場オープンに向けた告知	情報発信、㈱スノーピークとの連携				
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー等の受け入れ、観光商品づくり、情報発信						